

# 風致地区内行為許可申請書

年 月 日

泉佐野市長様

住所  
申請者

氏名

電話 (       -       -       )

( 法人にあつては  
その名称及び  
代表者の氏名 )

泉佐野市風致地区内における建築等の規制に関する条例第2条第1項の規定により、次のとおり許可を申請します。

風致地区の名称	風致地区		
行為地の所在及び地番			
行為地の面積及び地目	面積	m <sup>2</sup>	地目
			1 田      2 畑      3 宅地 4 山林    5 原野 6 その他 (       )
行為の種類	1 建築物等の新築、改築、増築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更 4 水面の埋立て又は干拓 5 木竹の伐採 6 土石の類の採取 7 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積		
行為の目的			
行為の期間	年 月 日 ~       ) 年 月 日		

注： 申請手続を代理人が行う場合は、申請者の委任状を添付すること。

様式第2号その1 (第2条関係)

建 築 物 説 明 書			
土地の形質の変更の有無	1 有 (面積 $m^2$ 最高のり高 $m$ ) ② 無		
工 事 の 種 類	1 新 築      2 改 築      3 増 築      4 移 転		
常 設 又 は 仮 設 の 別	1 常 設    2 仮 設 (      年 月 日 ~      年 月 日 )		
用 途			
棟 数	棟		
敷 地 面 積	(A) $m^2$		
建 築 面 積	申 請 部 分	申 請 以 外 の 部 分	合 計
	$m^2$	$m^2$	(B) $m^2$
延 べ 面 積	$m^2$	$m^2$	$m^2$
建 ぺ い 率	$\frac{(B)}{(A)} \times 100 =$ %		
高 さ ( 改 築 前 )	(      ) $m$		
申 請 部 分 から 敷 地 の 境 界 線 まで の 最 短 距 離	道 路 に 接 す る 部 分	$m$	
	そ の 他 の 部 分	$m$	
構 造	1 木 造      2 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造      3 鉄 骨 造		
	4 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 造      5 そ の 他 (      )		
	地 上	階	地 下 階
外 壁 の 色 彩	色		
屋 根 の 色 彩	色		
敷 地 内 の 木 竹 の 有 無	緑 化 率      %		
植 栽 計 画			
工 事 施 行 者 の 住 所 及 び 氏 名	電話 (      )		
<p>注：1 敷地内の木竹の有無の欄及び植栽計画の欄には、主な木竹の種類、高さ、本数及び位置を簡単に記入すること。</p> <p>2 土地の形質の変更、水面の埋立て若しくは干拓、木竹の伐採又は屋外における土石、廃棄物若しくは再生資源の堆積を伴う場合は、様式第2号その4、様式第2号その5、様式第2号その6又は様式第2号その8を添付すること。</p>			

様式第2号その2 (第2条関係)

工 作 物 説 明 書			
土地の形質の変更の有無	1 有 (面積 $m^2$ 最高のり高 $m$ ) 2 無		
工 事 の 種 類	1 新 築          2 改 築          3 増 築          4 移 転		
常 設 又 は 仮 設 の 別	1 常 設    2 仮 設 (          年   月   日 ~          年   月   日 )		
用 途			
敷 地 面 積	$m^2$		
高 さ	$m$		
構 造	1 木造          2 鉄筋コンクリート造          3 鉄骨造 4 コンクリートブロック造          5 (その他          )		
その他の構造の概要			
色 彩	色		
敷地内の木竹の有無		緑 化 率	%
植 栽 計 画			
工 事 施 行 者 の 住 所 及 び 氏 名	電話 (          )		
<p>注：1 その他の構造の概要の欄には、長さ、幅員、容積等を記入すること。                  2 敷地内の木竹の有無の欄及び植栽計画の欄には、主な木竹の種類、高さ、本数及び位置を簡単に記入すること。                  3 土地の形質の変更、水面の埋立て若しくは干拓、木竹の伐採又は屋外における土石、廃棄物若しくは再生資源の堆積を伴う場合は、様式第2号その4、様式第2号その5、様式第2号その6又は様式第2号その8を添付すること。</p>			

様式第2号その3 (第2条関係)

## 建築物等の色彩変更説明書

色彩を変更する  
建築物等の種類

1 建築物 (外壁 屋根)

2 工作物 ( )

現在の色彩

変更後の色彩

変更理由

行為地付近  
の現況

注：行為地付近の現況の欄には、行為地付近の地形並びに主な木竹の種類及び高さを記入すること。

様式第2号その4 (第2条関係)

宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更説明書	
面積	m <sup>2</sup>
最高のり高	m <sup>2</sup>
切土	m <sup>3</sup>
盛土	m <sup>3</sup>
行為地の現況	
風致の維持のために行う措置	
緑化率	% ※植栽工事を実施できない場合の誓約書(様式2)を提出するときは、記入不要。
工事施行者の住所及び氏名	電話 ( )
<p>注：1 行為地の現況の欄には、行為地の地形、田、畑、山林等の土地の利用現況並びに主な木竹の種類及び高さを記入すること。</p> <p>2 木竹の伐採又は屋外における土石、廃棄物若しくは再生資源の堆積を伴う場合は、様式第2号その6又は様式第2号その8を添付すること。</p>	



様式第2号その6 (第2条関係)

木 竹 の 伐 採 説 明 書					
森林地内の木竹の伐採	面 積				m <sup>2</sup>
	伐 採 量				m <sup>3</sup>
	伐 採 方 法	1 皆 伐		2 択 伐 (択伐率 %)	
	林 相	1 針葉樹林		2 広葉樹林	
	主 な 木 竹 の 種 類	3 針広混交樹林 (占領面積比 針 : 広)		4 竹林	
	林 齢	年 ~ 年			
	行 為 地 付 近 の 現 況				
	風致維持のために行う措置				
	工事施行者の住所及び氏名	電話 ( )			
集団をなす木竹の伐採	面 積				m <sup>2</sup>
	伐 採 量				本
	採 取 方 法	1 皆 伐		2 択 伐 (択伐率 %)	
	主 な 木 竹 の 種 類				
	林 齢	年 ~ 年			
	行 為 地 付 近 の 現 況				
	風致の維持のために行う措置				
	工事施行者の住所及び氏名	電話 ( )			
独伐立採樹木の	樹 種 名	樹 齢	樹 高	幹まわり (地上より 1.5 m)	
		約 年	m	m	
注： 森林地内の木竹の伐採又は集団をなす木竹の伐採の行為地付近の現況の欄には、行為地付近の地形並びに主な木竹の種類及び高さを記入すること。					

様式第2号その7 (第2条関係)

土石類の採取説明書	
面積	m <sup>2</sup>
採取量	m <sup>3</sup>
採取土石類の種類	
風致の維持のために行う措置	
緑化率	%
工事施行者の住所及び氏名	電話 ( )
注： 木竹の伐採又は屋外における土石、廃棄物若しくは再生資源の堆積 <small>たい</small> を伴う場合は、様式第2号その6又は様式第2号その8を添付すること。	

様式第2号その8 (第2条関係)

屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積説明書	
堆積物の種類	土 石 ・ 廃 棄 物 ・ 再 生 資 源
面積	m <sup>2</sup>
堆積の高さ	m
堆積の量	m <sup>3</sup>
行為地の現況	
風致の維持のために行う措置	
緑化率	%
工事施行者の住所及び氏名	電話 ( )
<p>注：1 行為地の現況の欄には、行為地の地形、田、畑、山林等の土地の利用現況並びに主な木竹の種類及び高さを記入すること。</p> <p>2 木竹の伐採を伴う場合は、様式第2号その6を添付すること。</p>	

# 風致地区内行為 (終了・廃止・中止) 届出書

年 月 日

泉佐野市長 様

届出者 住所  
氏名 印  
電話 ( - - )

( 法人にあつては、主たる  
事務所の所在地、名称  
及び代表者の氏名 )

泉佐野市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則第5条の規定により、次のとおり届け出ます。

許可年月日 許可番号	
許可を受けた行為	
行為地の所在	
行為着手・終了 (廃止・中止)年月日	
理由 (廃止・中止の場合)	



# 風致地区内行為地位承継届出書

年 月 日

泉 佐 野 市 長 様

届出者 住 所  
氏 名 印  
電 話 (       -       -       )

( 法人にあつては、主たる  
事務所の所在地、名称  
及び代表者の氏名 )

次のとおり地位を承継したので、泉佐野市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則第7条第2項及び第8条第2項の規定により関係書類を添えて届け出ます。

2項において準用する同規則第7条第2項

被承継人の住所及び氏名	住所	
	氏名	
風 致 地 区 の 名 称		風致地区
行為地の所在及び地番		
許可を受けた行為の種類		
許 可 番 号	泉佐都道第	号
許 可 年 月 日	年	月 日
理 由		

様式第6号 (第9条関係)

風致地区内行為許可標識	
許 可 番 号	泉佐都道第 号
許 可 年 月 日	年 月 日
許可を受けた行為の種類	
許 可 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
行 為 者	住 所
	氏 名
工事現場管理者	住 所
	氏 名
	連絡先
そ の 他	

60センチメートル

90センチメートル

※看板サイズは目安です

(様式1)

将来的に建築物となる箱型構造物（地下ガレージ）を設置する場合の誓約書

誓 約 書

年 月 日

泉佐野市長 様

(申 請 者)

住 所

氏 名

印

今回、下記場所において風致地区内行為である「宅地の造成等」及び「工作物の新築」を計画しております。

「工作物の新築」の許可条件の内、条例第4条第1項第1号ロで規定されている「工作物(仮設の工作物及び地下に設ける工作物を除く。）」については、当該工作物の位置、規模、形態及び意匠が、当該新築の行われる土地及びその周辺の土地の区域における風致と著しく不調和でないこと。」については十分承知しており、今回計画では、完成後速やかに宅地分譲を行い、その後別途「建築物等の新築」の許可を受ける予定であります。

つきましては、今回、「工作物の新築」として箱型構造物を施工しますが、その後の「建築物等の新築」の施工時において当該擁壁が建築物の地下ガレージとなる予定でありますので、こちらについては後日申請となります「建築物等の新築」時に再度審査いただくことでの御了解をお願いいたします。

また、今回の許可時においては、条例第4条第1項第1号イ(3)で規定されている「当該建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から敷地の境界線までの距離については、その境界線が道路に接する部分である場合にあっては一・八メートル、その他の部分である場合にあっては一メートル以上であること。ただし、土地の状況により支障がないと認められる場合においては、この限りでない。」について十分承知した上で工作物を施工し、今回許可における風致計画を基にした上での建築行為が必要であり、建築計画確定により箱型構造物の位置に支障がある場合は廃止・再申請を行う旨、買主との売買契約の際、重要事項説明書等に記載して売買する事を誓約致します。

なお、建築物の新築完了予定時期につきましては、今回許可による工事完了後、約2年以内に行います。

記

1. 申請場所
2. 開発者
3. 今回申請（宅地の造成等）時において行う箱型構造物の計画の概要  
別紙：今回の壁面後退距離の根拠となる箱型構造物の地盤面算定根拠
4. 分譲宅地予定戸数及び1宅地当たりの面積（最小宅地面積・最大宅地面積）
5. 次期申請（建築物等の新築）の想定申請時期
6. 上記の建築予定時期を超えたにも係わらず、未整備部分がある場合の処置方法

(様式2)

宅地の造成等において、植栽工事を実施できない場合の誓約書

誓 約 書

年 月 日

泉佐野市長 様

(申 請 者)

住 所

氏 名

印

今回、下記場所において風致地区内行為である「宅地の造成等」を計画しております。

「宅地の造成等」の許可条件の内、条例第4条第1項第6号イで規定されている「木竹が保全され、又は適切な植栽が行なわれる土地の面積の当該宅地の造成等に係る土地の面積に対する割合が別表に掲げる割合以上であること。」については十分承知しておりますが、今回計画では宅地分譲のみを計画しており、完成後速やかに分譲を行い、その後別途「建築物等の新築」の許可を受ける予定であります。

つきましては、「宅地の造成等」の施工時点において植栽工事を行いますと、その後の「建築物等の新築」の施工時に樹木等に損傷を与えてしまう為、後日申請となります「建築物等の新築」の施工時点に植栽工事を行うことでの御了解をお願いいたします。

また、下記事項及び今回許可における風致計画を基にした上での建築行為が必要であることを、買主との売買契約の際、重要事項説明書等に記載して売買する事を誓約致します。

なお、植栽整備の完了予定時期につきましては、今回許可による工事完了後、約2年以内に行います。

記

1. 申請場所
2. 開発者
3. 今回申請（宅地の造成等）時において行う植栽計画の概要
4. 分譲宅地予定戸数及び1宅地当たりの面積（最小宅地面積・最大宅地面積）
5. 次期申請（建築物等の新築）の想定申請時期
6. 上記の植栽整備予定時期を超えたにも係わらず、未整備部分がある場合の植栽整備の処置方法